

北海道地域福祉学会ニュース No. 12

2000年6月15日 発行／編集 北海道地域福祉学会

2000年度事業計画概要決まる

去る5月29日、道立社会福祉総合センター老人福祉研究室において、本学会第1回目の理事会が開催され、本年度の事業計画の骨子を次のとおりとしました。

個別事業の詳細につきましては、開催要綱の送付などを通じ会員の皆様へ直接ご案内いたしますが、会員皆様の年間スケジュールに本学会の事業計画も是非組み入れていただきたいと思います。

2000年度研究活動テーマ

本年度の本会の研究活動は、次の課題をメインテーマとして活動を展開することといたしました。

「社会福祉基礎構造改革を解明する」
～社会福祉法を住民（国民）のもとに～

月別事業計画

- 6月15日（木）北海道地域福祉学会ニュースNo.12発行
〃 28日（水）第1回定例研究会（別頁参照）（札幌市内）
8月11日（金）平成12年度北海道地域福祉会議（札幌市内）
9月15日（金）北海道地域福祉学会ニュースNo.13発行
10月7日（土）北海道地域福祉学会研究大会（札幌市内）
〃 〃 〃 北海道地域福祉学会総会（札幌市内）
28日（土）移動研究会（札幌市内）
11月末 研究紀要原稿締切
12月7日（木）第2回定例研究会（札幌市内）
12月15日（金）北海道地域福祉学会ニュースNo.14発行
1月 研究紀要発行
3月15日（木）北海道地域福祉学会ニュースNo.15発行

「社会福祉のシステム改革と21世紀の地域福祉」

テーマに熱論が展開される

～日本地域福祉学会第14回大会から～

6月10日（土）～11日（日）、新緑のイーハトーブ、岩手県滝沢村、岩手県立大学において日本地域福祉学会第14回大会が開催されました。

本紙面を通じ、その一端をレポートします。

レポーター 北星学園大学 大内 高雄

6月10日・11日の両日、私は大会のメインテーマ「社会福祉のシステム改革と21世紀の地域福祉」のシンポジウムと自由研究発表の地域福祉理論・方法論を中心に参加したので、そこを中心に感想を含めて報告します。

シンポジウム「社会福祉のシステム改革と21世紀の地域福祉」では、社会福祉基礎構造改革の柱である社会福祉事業法改正（社会福祉法）の中で、今後の地域福祉の実践課題を行政、施設、社協等の立場からの主張があった。

印象に残ったのは各シンポジストが共通して、21世紀の地域福祉に向けて「体質改善」の必要性を指摘していたという点であった。

その議論では、社会福祉法を契機にして現場の知見で情報が共有できる仕組みづくり、それも現場のより近いところでいかに汲み取れるようにできるかを条件として次の点が主張された。

行政は権限だけでする仕事でなくて、地域の声・提言だけでする仕事でなくて、地域の声、提言が行政に入ってくる仕組みづくり、社協は行政と対等なパートナーシップをもちつつ、明確な経営理念と方針、具体的な発展計画が求め

られており、作業（事業？）だけではダメになってしまう。

何よりも体質改善の基本となるのは「人」であり、資格制度、職業倫理をもったアイデンティティの確立も重要となっている。その他にもサービス評価は納税者がやるべきなのか、それとも消費者（利用者個人レベル）、第三者レベルか等も議論となった。

シンポジストの論調をまとめ的に表現するならば、今回の社会福祉法ができただけでは21世紀の福祉は成立しない。地域福祉の基本である住民（国民）参加なくしては、換言すれば住民（国民）と結びつかない改革であってはならないと言えるのではないか。まさに、この根っ子のところの議論の中で21世紀の地域福祉を築くヒントがあるように思えてならない。

次に「自由研究発表」地域福祉理論・方法論からの報告を一つ取り上げてみる。

島根大学の瓦井 昇氏は「コミュニティ・インターベンションの視点と方法」について報告した。1968年のロスマンのモデル化以降、1990年代のアメリカのC・Oの動向は関心がもたれていた。

氏は丁寧な文献研究を通して、アメリカのC・O研究は、1995年のロスマンの論説では「C・Oからコミュニティ・インターベンションへと移し、これまでの3モデル（1）地域開発モデル、（2）社会計画モデル、（3）ソーシャルアクションモデルの修正と現代化を図っている」と紹介した。

そして、どちらかと言えばコミュニティを基礎に原点回帰したと評価される動きではないかという。それはマクロ的に拡大したC・O論を見直して、コミュニティの機能の拡大や組織・グループの強調、そして社会改革のための力の賦与（エンパワーメント）などをタスクゴールまたはプロセスゴールとし、コミュニティにおいてロスマンの3モデルの複合的な適用を図る理論である。

瓦井氏はアメリカのC・O研究の新しい動向として紹介したが、今後わが国の社会福祉法にみる基礎構造改革、とりわけ地域福祉推進に力点がおかれる中で、どのような意味と意義をもっているか検討されることが問われているのではないか。

また、その作業が求められていると思われた。

最後に今回の大会に参加して、学会に参加している層が厚くなっていること、また第一線の社協マン、研究者も多く、とにかく不勉強な私にとっては大いに刺激になりました。

日本地域福祉学会第14回大会北海道会員 自由研究発表者一覧（順不同）

日本地域福祉学会第14回大会自由研究発表への北海道地域福祉学会会員からのエントリー状況は次の通りでした。

第8部門 地方分権と地域福祉行財政

- ・新公的介護保障システムの提案
～地方分権をめざした税方式に～
横 山 純 一（北海学園大学）

第5部門② 地域福祉と自立生活支援

- ・嫁が在宅高齢者を看取る意味
深 澤 圭 子（札幌医科大学）

第5部門③ 地域福祉と自立生活支援

- ・精神障害者の地域における自立支援とリハビリテーションのあり方
～3地域の福祉実践事例を通して～
忍 博 次（吉備国際大学）
渡 邊 直 美（中垣脳神経外科病院）

第5部門④ 地域福祉と自立生活支援

- ・韓国農村のコミュニティワーク（1）
～地域センターを拠点とする活動～
杉 岡 直 人（北星学園大学）
林 芳 治（駒沢大学看護福祉専門学校）
佐 藤 友 香（北星学園大学大学院）
高 橋 紀 子（北星学園大学大学院）
・韓国農村のコミュニティワーク（2）

～日本農村地域との比較～

杉岡直人（北星学園大学）

林芳治（駒沢大学看護福祉専門学校）

佐藤友香（北星学園大学大学院）

高橋紀子（北星学園大学大学院）

第5部門⑥ 地域福祉と自立生活支援

・介護保険制度におけるモニタリングについて

（その1～その5）

関田康慶（東北大学大学院）

加藤由美（東北大学大学院）

増子正（東北大学大学院）

富田恵子（仙台大学）

村田道彦（東北大学大学院）

田中利宗（弘前学院大学）

中村健治（北海道社会福祉協議会）

百瀬みえ子（仙台医療福祉専門学校）

築地光一（東北大学大学院）

糟谷昌志（東北大学大学院）

小湊純一（東北大学大学院）

李折（東北大学大学院）

前沢政治（北海道大学付属病院）

田中治和（東北福祉大学）

高橋勝彦（岩手県社会福祉協議会）

参考文献紹介

著書名 ノーマルな社会を築くために
～障害者福祉を考える～

監修 忍博次

編集 野川道子

横山奈緒枝

鈴木真知子

発行 中央法規出版株式会社

定価 3,500円（税別）

購入にあたっての問合せ先は、北海道地域福祉学会事務局までお願いします。

第1回定例研究会のご案内

今年度の第1回定例研究会を次のとおり開催します。詳細は別途開催要綱を会員あてお届けいたしますので、会員の皆様多数のご参加をお待ちしています。

と き 平成12年6月28日（水）午後6時30分
～8時30分

と ころ 道立社会福祉総合センター3階演習室
札幌市中央区北2条西7丁目

内 容 講演とディスカッション
テーマ「社会福祉基礎構造改革で福祉
がどう変わる？」

講 師 高橋紘士氏
（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

参加定員 30名（先着順）

参加費 当日、受付にて申受けます。

会 員 500円

非会員 1,000円

参加申込 〒060-0002

札幌市中央区北2条西7丁目

道立社会福祉総合センター

北海道社会福祉協議会

総務部 企画調整担当

北海道地域福祉学会事務局

TEL 011-271-1944

FAX 011-271-1977

第33回 北星学園大学 社会福祉夏季セミナーのお知らせ

テーマ「社会福祉基礎構造改革の課題と方向

ー 改革の背景・市場原理の導入・

社会福祉事業法等の改正をめぐるー」

北星学園大学では、以下のとおり、セミナーを開催します。参加希望される方は以下内容を参照してください。

<内容>（抜粋）

9月1日（金）

基調講演Ⅰ 「社会福祉基礎構造改革の背景
とその方向」

北星学園大学社会福祉学部長

教授 松井 二郎

基調講演Ⅱ 「社会福祉基礎構造改革の基本
原理

～利用契約・市場原理導入の論
理～」

上智大学国際関係研究所教授 八代尚宏

基調講演Ⅲ 「社会福祉基礎構造改革と社会
福祉事業法等の改正」

東洋大学社会学部長 教授 古川孝順

9月2日(土)

分野別課題報告

・地域福祉との関わり

北星学園大学社会福祉学部

教授 大内高雄

・高齢者福祉との関わり

社会福祉法人幸清会

幸豊ハイツ

施設長 大久保幸積

・児童福祉との関わり

北星学園大学社会福祉学部

助教授 林 浩康

・障害者福祉との関わり

太陽の園作業所訓練部部长

佐々木 明員

<会場> 北星学園大学各教室

<定員> 130名(定員になり次第締め切
り)

<受講資格> 社会福祉に関心を持ち、期間中
受講出来る方

<受講料> 5,000円

<申込方法> 受講料を郵便振込すると同時に、
所定の申込書に必要事項を送付の上、
8月18日(必着)で、お振り込み
ください。

<受講料振込先・申込書送付先>

〒004-8631

札幌市厚別区大谷地西2丁目3番1号

北星学園大学社会福祉夏季セミナー係

口座番号 02710-7-8222

加入者名 北星学園大学

<問い合わせ先>

北星学園大学学務課社会福祉夏季セミナー係

TEL 011-891-2731(内線528)

北海道地域福祉学会事務局より

- ・2000年度の会費請求につきましては、
追ってご案内いたします。
- ・今年度の研究大会については、詳細なテーマ
が決定しだい、研究発表を募集いたします。
- ・本年度の研究紀要原稿締切は11月末です。
詳細なテーマ等が、決定しだいお伝えいたし
ます。
- ・この4月より学会事務局のスタッフが村田正
義と高橋修一となりました。前任の土井一敏
はボランティアセンター所長へと異動になり
ましたので今後もよろしくお願いします。
- ・学会事務局のスタッフも日本地域福祉学会第
14回大会に参加しました。印象に残ったのは
基調講演の中の言葉で、岩手県民性の特徴の
一つに、「パトロネージュ(誰かを支援す
る)」があるのではないかと考えていました。
「む」
- ・8月11日(金)に開催が予定されている平成
12年度北海道地域福祉会議のメインゲストに
は一番ヶ瀬 康子先生をお招することで準備
を進めています。先生が力説する「福祉文
化」に迫ってみたいと考えています。ご期待
のほどを!

北海道地域福祉学会(事務局)

〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目
道立社会福祉総合センター内

北海道社会福祉協議会総務部企画調整担当

TEL 011-271-1944

FAX 011-271-1977